

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	2266	課コード	0703	会計種別	一般会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	災害支援補助事業（台風、地震等）		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	都市部・建築住宅課			
	③事業主体	●市 ○その他（ ）			④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	令和2年度～令和2年度			⑥担当職員数	4人（換算人数）		0.3人				
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0千円		当該（開始）年度	（当初）	12,510千円	（うち人件費）	2,610千円			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	64002	重点プロジェクトへの位置づけ	重点3	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	（計画名）		
(2) 目的	施策目的・展開方向	住生活に対する市民の多様なニーズに対応するため、住まいにかかわる相談窓口や総合的な情報提供を充実するとともに、若い世代の住宅取得や住宅リフォーム、液状化被害を受けた住宅等の敷地の有効活用、高齢者や障害者のためのバリアフリー化などに対する支援を進めます。また、市内への定住化を進めるために必令和元年台風15号、台風19号及び10月25日の大雨により被災した住宅の修繕に要する費用の一部を助成する。			事業目的	台風、地震等で被災した建築物等の再建支援を行う。						
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	・補助制度の実施 ・広報、ホームページ等で補助制度の周知						
					当該年度活動結果指標	補助金申請件数（令和元年度実績：50件）	単位	件	想定値	30		
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該年度	修繕を必要とする住宅に対し、助成制度を利用することにより、被災者の生活の安定と安全確保を図る。				直接	処理率（当該年度交付件数/当該年度補助申請件数）		%	100	100		
令和3年度					-					0		
令和4年度					-					0		
(7) 事業実施上の課題と対応	助成制度を多くの市民の皆様に利用してもらえるよう方策を検討する必要がある。				代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度				
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		*	被災住宅修繕支援事業(予備費) ・150万円×45件×20% ・200万円×10件×20% ・250万円×5件×20%	20,000	*	被災住宅修繕支援補助金 ・150万円×23件×20% ・200万円×5件×20% ・250万円×2件×20%	9,900					
		合計		20,000	合計		9,900		合計		0	
		国庫支出金	補助率 50%	9,000	補助率 50%	4,500	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	
		県支出金	補助率 30%	7,000	補助率 30%	3,420	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	
		起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	0	
		一般財源		4,000		1,980		0		0	0	
		その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0
		換算人数(人)		0.25		0.3		0.3		0.3	0.3	
正職員人件費		2,200		2,610		2,610		2,610	2,610			
嘱託職員報酬額		0		0		0		0	0			
臨時職員賃金額		0		0		0		0	0			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		22,200		12,510		2,610		2,610	2,610			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		370千円/件		417千円/件								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？（事業の必要性）	令和元年台風15号、台風19号及び10月25日の大雨により被災した住宅に対し、修繕費用の一部を助成する。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない（理由） <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> ②市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> ③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> ④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> ⑤サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> ⑥サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> ⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他		<その他の内容> 該当なし。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要	
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他		<その他の内容> 該当なし。				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (%)	目標値(b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率 (%)		○①目標値達成 ○②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である		実績値(f) (%)	(f/b) × 100				○要 ○不要
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	■①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ②現有体制での対応 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ④民間委託		実績値(g) (千円)	対事業費 (%)		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	事業費削減率 (%)		<削減の内容>		<超過理由等>					
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		○要 ○不要	
	0.8	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	(h/e) × 100			

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					